

# 9月定例会

## こんなことが決まりました

令和3年第3回定例会を9月13日から16日までの会期で開きました。町から提出された29の議案等を審議し、すべて原案のとおり可決しました。9月定例会は決算議会でもあり、令和2年度の一般会計及び6つの特別会計の決算を認定しました。

また、令和3年度各会計補正予算を可決しました。及び、様々な団体から届いた陳情などを受け、議員が提案した3件の意見書を可決し、国等に提出しました。

加えて、道の駅整備が休止せざるを得なくなった原因を究明するため、「道の駅に関する調査特別委員会」を設置しました。

## 3つの意見書を可決

### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

提出者 黒田 政徳  
賛成者 畑中 大子  
賛成者 北郷 伯弘

提出先 衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
内閣官房長官  
財務大臣  
総務大臣  
経済産業大臣  
経済再生担当大臣

【内容】  
①他の地方歳出に不合理的なしわ寄せがないよう、十分な総額を確保すること。  
②緊急経済対策として講じられた固定資産税等の特例措置は、期限の到来を持って確実に終了すること。  
③土地にかかる固定資産税の負担調整措置は、今年度限りとする。こと。  
④自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時の軽減の延長は断じて行わないこと。  
⑤炭素に係る税を創設・拡充する場合は、地方に税源配分すること。

### 道の駅に関する調査特別委員会設置

門馬巧議員の発議を可決し、道の駅整備が休止せざるを得なくなった原因を究明するための特別委員会を設置しました。

委員には、議長を除く9人全員が指名され、委員の互選により、委員長には発議者の門馬巧議員、副委員長には畑中大子議員を選出しました。



防災対策工事中の現場

### 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と 被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

提出者 畑中 大子  
賛成者 黒田 政徳  
賛成者 北郷 伯弘

提出先 復興大臣  
文部科学大臣  
総務大臣  
財務大臣

【内容】  
東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和4年度においても、全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

### 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに 使用しないよう求める意見書

提出者 畑中 大子  
賛成者 北郷 伯弘  
賛成者 門馬 巧

提出先 衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
厚生労働大臣  
国土交通大臣  
環境大臣  
防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

【内容】  
系満市摩文仁を中心に広がる南部地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた沖縄県民や命を落とされた兵士の遺骨が残されており、戦後76年が経過した今でも戦没者の収骨が行われていません。

人道的に許されないことから、悲惨な沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋め立てに使用しないこと。

## こんなことが決まりました

## 9月補正予算

今回の補正は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くことで、売り上げが大きく減少する町内の中小企業者等の事業継続を支援するための費用などが計上され、一般会計は歳入歳出それぞれ2億9513万円増額され、総額で64億1766万円となりました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億9513万円	64億1766万円
国民健康保険	2090万円	8億3652万円
土地開発事業	1264万円	1億6888万円
公共下水道事業	1005万円	2億3034万円
農業集落排水事業	178万円	4142万円
介護保険	4159万円	7億560万円
後期高齢者医療	35万円	2179万円
合計	3億8244万円	84億2221万円
主な内容		
●築地ヶ丘体育館施設管理費 ※築地ヶ丘体育館の解体工事費及び工事監理委託料		9205万円
●エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金 ※脱炭素化・低炭素化等の技術面・経済面・社会面での調査費用		7398万円
●広野町新型コロナウイルス対策中小企業者等支援事業補助金		1344万円